## 平成26年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】（連結）

平成26年2月5日

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>経常利益</th>
<th>四半期純利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>百万円</td>
<td>%</td>
<td>百万円</td>
<td>%</td>
<td>百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>26年3月期第3四半期</td>
<td>14,864</td>
<td>20.8</td>
<td>2,160</td>
<td>25.9</td>
</tr>
<tr>
<td>25年3月期第3四半期</td>
<td>12,143</td>
<td>93.9</td>
<td>1,715</td>
<td>248.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,408百万円（1.6%） 25年3月期第3四半期 1,387百万円（Δ43.6%）

1株当たり四半期純利益 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>1株当たり四半期純利益</th>
<th>潜在株式調整後1株当たり四半期純利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>円割</td>
<td>円割</td>
<td>円割</td>
</tr>
<tr>
<td>26年3月期第3四半期</td>
<td>26.05</td>
<td>26.05</td>
</tr>
<tr>
<td>25年3月期第3四半期</td>
<td>25.93</td>
<td>25.93</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### (2) 連結財政状態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>総資産</th>
<th>純資産</th>
<th>自己資本比率</th>
<th>1株当たり純資産</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>百万円</td>
<td>百万円</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td>円割</td>
</tr>
<tr>
<td>26年3月期第3四半期</td>
<td>16,254</td>
<td>11,435</td>
<td>70.4</td>
<td>213.92</td>
</tr>
<tr>
<td>25年3月期</td>
<td>15,341</td>
<td>10,694</td>
<td>69.7</td>
<td>200.07</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 11,435百万円 25年3月期 10,694百万円

### 2. 配当の状況

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>年間配当金</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期末</td>
</tr>
<tr>
<td>1株当たり</td>
<td>円割</td>
</tr>
<tr>
<td>25年3月期</td>
<td>0.00</td>
</tr>
<tr>
<td>26年3月期</td>
<td>0.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

配当は、平成26年3月期の連結報告書1,250円の内訳は、普通配当1,200円で、東証一部上場記録配当50円00銭です。

配当は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、平成26年3月期（予想）の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成26年3月31日）

#### (1) 連結業績予算

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>経常利益</th>
<th>当期純利益</th>
<th>1株当たり当期純利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>百万円</td>
<td>%</td>
<td>百万円</td>
<td>%</td>
<td>百万円</td>
<td>円割</td>
</tr>
<tr>
<td>通期</td>
<td>20,000</td>
<td>13.8</td>
<td>2,900</td>
<td>24.5</td>
<td>2,890</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成23年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、平成26年3月期（予想）における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。
※注記事項
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規——社（社名）
除——社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料P.3「サマリー情報（注記事項）」に関する事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・合計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 26年3月期3Q 53,593,100株 25年3月期 53,593,100株
② 期末自己株式数 26年3月期3Q 138,000株 25年3月期 138,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 26年3月期3Q 53,455,100株 25年3月期3Q 53,455,100株

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたとの仮定し、発行済株式数（普通株式）を計上しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料P.3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。
添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定常的情報  .............................................................................. 2
   （1）経営成績に関する説明 ......................................................................................... 2
   （2）財政状態に関する説明 ......................................................................................... 3
   （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ................................................... 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .................................................................... 3
   四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ................................................... 3
3. 継続企業の前提に関する重要事項等 ......................................................................... 3
4. 四半期連結財務諸表 ................................................................................................. 4
   （1）四半期連結貸借対照表 ......................................................................................... 4
   （2）四半期連結損益及び包括利益計算書 ................................................................. 6
       第3四半期連結累計期間 ......................................................................................... 6
   （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ............................................................... 7
       （継続企業の前提に関する注記） ......................................................................... 7
       （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ......................................... 7
       （セグメント情報等） .......................................................................................... 7
１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるエンターテイメント業界は、ソーシャルゲーム市場の成長率に鈍化傾向が見られました。スマートフォンの急速な普及により、従来型のWebブラウザゲームに加え、スマートフォンにインストールして遊べるアプリゲーム市場が急拡大いたしました。また、家庭用ゲーム市場におきましては、欧米で先行発売された新型の移動型ゲーム機が非常に好調な売上を記録しており、ゲーム専門機の需要も改めて確認されました。音楽・映像分野では、スマートフォンの浸透に伴う無料動画サイト等の充実から、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。一方で、会場の照明や一体感を楽しむことができるライブエンターテイメント、その市場規模も着実に拡大させております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテイメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチチャンネル・マルチデバイス」戦略を基軸としての総合エンターテイメント企業として、強力なITを中核としたブランディング戦略・ライツアレンジ戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）の業績は、売上高14,666百万円（前期同毎年比20.8%増）、営業利益2,160百万円（前期同毎年比26.9%増）、経常利益2,231百万円（前期同毎年比33.4%増）、四半期純利益1,392百万円（前期同毎年比0.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①オンライン事業
　　当事業のPCブラウザゲームにおきましては、「ブラウザ三国志」をはじめとする主力タイトルが引き続き好調しておりますが、リリースからの月勧業や、市場全体の縮小傾向に伴う中で、収益面では前期超期を下回る結果となりました。モバイルゲームにおきましては、前期から好調の「一騎当千バーチストフォイト」、「閃乱カグラNewWave」に続きまして、平成25年9月リリースの「ハイスクールD×D」が順調に立ち上がりました。また、LINE向け初のタイトルとなる「LINE らんちん勇者」を平成25年11月に、PCゲームでも極端に人気を誇る「剣と魔法のログレス」のネイティブアプリ版を平成25年12月にリリースいたしました。しかしながら、会社数の伸びに比例せず、課金率を上昇させるなかった「オンライン」や「聖戦ドラゴンオーブ」の推移が芳しくなく、結果として、サービス停止による開発費の一括償却を行っております。
　　これらの結果、売上高は6,267百万円（前期同毎年比18.8%増）、営業利益は408百万円（前期同毎年比35.5%減）となりました。

②コンシューマー事業
　　当事業の自社販売部門におきましては、平成25年5月発売の「ヴォルフラマイツ3（PS Vita）」が順調な販売となりました。また、前期発売の「閃乱カグラSHINOⅢ VERSUS -少女達の証明-（PS Vita）」や「療村YES（PS Vita）」、その他の新作リリースも好調に推移いたしました。海外事業につきましては、米国子会社Marvelous USA, Inc.の販売が順調に推移いたしました。
　　アミューズメント部門につきましては、平成24年7月に稼働を開始した、キッズアミューズメント屋内の「ボケモノトレンド」が好調を継続しており、当事業の収益に大きく貢献いたしました。
　　これらの結果、売上高は5,424百万円（前期同毎年比21.5%増）、営業利益は1,812百万円（前期同毎年比51.5%増）となりました。

③音楽映像事業
　　当事業の音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズのTVアニメ「ドキドキ！プリキュア」や当社主幹事作品のTVアニメ「はやぶさの青春ラブコメ」はまちがっている。」の映像商品化を行い、いずれも順調に推移となりました。
　　ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計134公演分の実績を計上し、関連DVDを6作品発売いたしました。また、「舞台『四月の松へ』」や「ミュージカル『深淵鬼』」も当事業の主力シリーズとして、舞台公演と関連DVDの両方が収益に貢献しております。
　　これらの結果、売上高は2,974百万円（前期同毎年比23.7%増）、営業利益は683百万円（前期同毎年比18.7%増）となりました。
（2）財政状態に関する説明
当社グループの当第３四半期連結会計期間末における財政状態は、資産16,254百万円（前連結会計年度末比912百万円増）、負債4,818百万円（前連結会計年度末比171百万円増）、純資産11,435百万円（前連結会計年度末比740百万円増）となりました。

（流動資産）
当第３四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加ならびにたな卸資産の増加等により13,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,219百万円増加いたしました。

（固定資産）
当第３四半期連結会計期間末における固定資産は、投資有価証券の売却等により2,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少いたしました。

（流動負債）
当第３四半期連結会計期間末における流動負債は、借入金等の返済による減少のほか、未払法人税等の増加等により4,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。

（固定負債）
当第３四半期連結会計期間末における固定負債は、1年内返済予定の長期借入金への振替等により58百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。

（純資産）
当第３四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益の累積が前連結会計年度の期末配当による剰余金の減少を上回った結果、11,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ740百万円増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
今期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項
四半期連結財務諸表の作成に係る会計処理の適用
税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。
4. 四半期連結財務諸表
   （1）四半期連結貸借対照表

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>前連結会計年度（平成25年3月31日）</th>
<th>当第3四半期連結会計期間（平成26年12月31日）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td><strong>資産の部</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>流動資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>現金及び預金</td>
<td>7,123,957</td>
<td>7,716,510</td>
</tr>
<tr>
<td>受取手形及び売掛金</td>
<td>3,515,610</td>
<td>3,726,702</td>
</tr>
<tr>
<td>電子記録債権</td>
<td>28,386</td>
<td>42,430</td>
</tr>
<tr>
<td>有価証券</td>
<td>－</td>
<td>73,899</td>
</tr>
<tr>
<td>たな卸資産</td>
<td>957,674</td>
<td>1,467,566</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,013,380</td>
<td>860,640</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金</td>
<td>△45,541</td>
<td>△68,967</td>
</tr>
<tr>
<td>流動資産合計</td>
<td>12,593,467</td>
<td>13,812,781</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>固定資産</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>有形固定資産</td>
<td>611,596</td>
<td>565,073</td>
</tr>
<tr>
<td>無形固定資産</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>のれん</td>
<td>227,096</td>
<td>145,967</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,141,852</td>
<td>1,248,591</td>
</tr>
<tr>
<td>無形固定資産合計</td>
<td>1,368,494</td>
<td>1,394,559</td>
</tr>
<tr>
<td>投資その他の資産</td>
<td>876,858</td>
<td>604,707</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金</td>
<td>△108,989</td>
<td>△122,941</td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産合計</td>
<td>2,748,415</td>
<td>2,441,399</td>
</tr>
<tr>
<td>資産合計</td>
<td>15,341,883</td>
<td>16,254,180</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>負債の部</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>流動負債</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>売掛金</td>
<td>769,468</td>
<td>686,030</td>
</tr>
<tr>
<td>短期借入金</td>
<td>602,005</td>
<td>590,740</td>
</tr>
<tr>
<td>1年内返済予定の長期借入金</td>
<td>180,563</td>
<td>74,403</td>
</tr>
<tr>
<td>未払税費</td>
<td>965,837</td>
<td>951,201</td>
</tr>
<tr>
<td>未払法人税等</td>
<td>226,863</td>
<td>691,139</td>
</tr>
<tr>
<td>引当金</td>
<td>128,214</td>
<td>－</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,099,746</td>
<td>1,766,684</td>
</tr>
<tr>
<td>流動負債合計</td>
<td>4,570,637</td>
<td>4,760,199</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>固定負債</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>長期借入金</td>
<td>64,520</td>
<td>44,584</td>
</tr>
<tr>
<td>資産除去債務</td>
<td>12,059</td>
<td>14,058</td>
</tr>
<tr>
<td>固定負債合計</td>
<td>76,579</td>
<td>58,642</td>
</tr>
<tr>
<td>負債合計</td>
<td>4,647,217</td>
<td>4,818,841</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>前連結会計年度（平成25年3月31日）</td>
<td>当第3四半期連結会計期間（平成25年12月31日）</td>
</tr>
<tr>
<td>--------------------------</td>
<td>--------------------------------</td>
<td>------------------------------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>純資産の部</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>株主資本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>1,128,472</td>
<td>1,128,472</td>
</tr>
<tr>
<td>資本剰余金</td>
<td>6,373,514</td>
<td>6,373,514</td>
</tr>
<tr>
<td>利益剰余金</td>
<td>3,226,614</td>
<td>3,950,766</td>
</tr>
<tr>
<td>自己株式</td>
<td>△27,726</td>
<td>△27,726</td>
</tr>
<tr>
<td>株主資本合計</td>
<td>10,700,875</td>
<td>11,425,027</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の包括利益累計額</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他有価証券評価差額金</td>
<td>11</td>
<td>35</td>
</tr>
<tr>
<td>為替換算調整勘定</td>
<td>△6,220</td>
<td>10,275</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の包括利益累計額合計</td>
<td>△6,209</td>
<td>16,311</td>
</tr>
<tr>
<td>純資産合計</td>
<td>10,694,665</td>
<td>11,435,339</td>
</tr>
<tr>
<td>負債純資産合計</td>
<td>15,341,883</td>
<td>16,264,180</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）</td>
<td>当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）</td>
</tr>
<tr>
<td>------------------------------</td>
<td>---------------------------------------------------------------</td>
<td>---------------------------------------------------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>12,148,897</td>
<td>14,668,345</td>
</tr>
<tr>
<td>売上原価</td>
<td>6,221,182</td>
<td>7,410,217</td>
</tr>
<tr>
<td>売上総利益</td>
<td>5,922,714</td>
<td>7,256,127</td>
</tr>
<tr>
<td>銷売費及び一般管理費</td>
<td>4,207,184</td>
<td>5,095,756</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益</td>
<td>1,715,530</td>
<td>2,160,370</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外収益</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>受取利息</td>
<td>4,229</td>
<td>1,982</td>
</tr>
<tr>
<td>為替差益</td>
<td>28,423</td>
<td>74,481</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>2,966</td>
<td>4,117</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外収益合計</td>
<td>35,619</td>
<td>80,581</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外費用</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>支払利息</td>
<td>9,973</td>
<td>6,836</td>
</tr>
<tr>
<td>持分法による投資損失</td>
<td>67,139</td>
<td>－</td>
</tr>
<tr>
<td>貸倒引当金繰入額</td>
<td>－</td>
<td>1,948</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>969</td>
<td>238</td>
</tr>
<tr>
<td>営業外費用合計</td>
<td>78,081</td>
<td>9,023</td>
</tr>
<tr>
<td>経常利益</td>
<td>1,673,067</td>
<td>2,231,928</td>
</tr>
<tr>
<td>特別利益</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>投資有価証券売却損益</td>
<td>－</td>
<td>37,469</td>
</tr>
<tr>
<td>特別利益合計</td>
<td>－</td>
<td>37,469</td>
</tr>
<tr>
<td>特別損失</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>固定資産売却損</td>
<td>－</td>
<td>197</td>
</tr>
<tr>
<td>減損損失</td>
<td>－</td>
<td>49,374</td>
</tr>
<tr>
<td>和解金</td>
<td>－</td>
<td>49,905</td>
</tr>
<tr>
<td>特別損失合計</td>
<td>－</td>
<td>99,476</td>
</tr>
<tr>
<td>税金等調整前四半期純利益</td>
<td>1,673,067</td>
<td>2,169,920</td>
</tr>
<tr>
<td>法人税等</td>
<td>287,013</td>
<td>777,580</td>
</tr>
<tr>
<td>少数株主損益調整前四半期純利益</td>
<td>1,386,054</td>
<td>1,392,340</td>
</tr>
<tr>
<td>少数株主利益</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
</tr>
<tr>
<td>四半期純利益</td>
<td>1,386,054</td>
<td>1,392,340</td>
</tr>
<tr>
<td>少数株主利益</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
</tr>
<tr>
<td>少数株主損益調整前四半期純利益</td>
<td>1,386,054</td>
<td>1,392,340</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の包括利益</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他有価証券評価差額金</td>
<td>△282</td>
<td>24</td>
</tr>
<tr>
<td>為替換算調整勘定</td>
<td>3,174</td>
<td>13,206</td>
</tr>
<tr>
<td>持分法適用会社に対する持分相当額</td>
<td>△1,710</td>
<td>3,299</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の包括利益合計</td>
<td>1,181</td>
<td>16,521</td>
</tr>
<tr>
<td>四半期包括利益</td>
<td>1,387,236</td>
<td>1,408,862</td>
</tr>
<tr>
<td>内訳</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>親会社株主に係る四半期包括利益</td>
<td>1,387,236</td>
<td>1,408,862</td>
</tr>
<tr>
<td>少数株主に係る四半期包括利益</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報等）
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 昭和24年4月1日 至 昭和24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<table>
<thead>
<tr>
<th>報告セグメント</th>
<th>関連事業</th>
<th>調整額（注）1</th>
<th>四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）2</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>オンライン事業</td>
<td>コンシューマー事業</td>
<td>音楽映像事業</td>
<td>計</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>外部顧客への売上高</td>
<td>5,276,417</td>
<td>4,463,815</td>
<td>2,408,664</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント間の内部売上高又は振替高</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
<td>1,525</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>5,276,417</td>
<td>4,463,815</td>
<td>2,405,189</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント利益</td>
<td>632,773</td>
<td>1,196,424</td>
<td>538,638</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）1 セグメント利益の調整額△652,397千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等を自社一般管理費に帰属しております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 昭和25年4月1日 至 昭和25年12月31日）
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<table>
<thead>
<tr>
<th>報告セグメント</th>
<th>関連事業</th>
<th>調整額（注）1</th>
<th>四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）2</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>オンライン事業</td>
<td>コンシューマー事業</td>
<td>音楽映像事業</td>
<td>計</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>外部顧客への売上高</td>
<td>6,267,959</td>
<td>5,424,525</td>
<td>2,973,860</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント間の内部売上高又は振替高</td>
<td>－</td>
<td>－</td>
<td>640</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>6,267,959</td>
<td>5,424,525</td>
<td>2,974,500</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント利益</td>
<td>408,191</td>
<td>1,812,447</td>
<td>639,129</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）1 セグメント利益の調整額△699,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等を自社一般管理費に帰属しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
当社の連結子会社であるMarvelous USA, Inc. が前連結会計年度にIndex Digital Media, Inc. のオンラインゲーム事業を取得したことにより発生した「オンライン事業」に係るのれんについて、49,374千円の減損損失を計上しております。
（のれんの金額の重要な変動）
「オンライン事業」において、上記「固定資産に係る重要な減損損失」に記載した減損損失の計上により、のれんの金額が49,374千円減少しております。